

第 5 回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2009 年 11 月 18 日(水)13：00～17：15

場所：日産自動車追浜工場

第 5 回研究会は日産自動車の追浜工場を見学し、自動車組み立て工場での省エネルギー対策、環境対策等を視察した上で、以下の 2 件の講演を聞かせて頂く企画とした。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2009 年 11 月 18 日(水) 13 時 集合場所：京浜急行追浜駅
2. 見学会：13：30～15：00 日産自動車追浜工場
3. 講演会：15：15～17：15

会場：日産自動車追浜工場ゲストホール会議室

演題(1)：「カーボンフットプリントの動向について」

講師：東京家政大学教授(当研究会会長) 村上 和雄氏

演題(2)：「日産自動車の工場における環境負荷低減への取り組み」

講師：日産自動車(株)生産事業本部 NPW 推進部 岸 雄治氏

4. 交流会：17：30～19：00 追浜「一八」

1. 見学会

今回見学した施設は概略以下のとおりである。見学会・講演会参加者は 16 名

- 1) 施設名称：日産自動車追浜工場
- 2) 所在地：神奈川県横須賀市夏島町 1
- 3) 敷地面積：約 171 ha (第一工場、第二工場、総合研究所、テストコース、専用埠頭)
- 4) 従業員数：約 3,370 名
- 5) 生産能力：約 43 万台/年
- 6) 生産品目：マーチ、キューブ、ノート、テューダ、
テューダラティオ、ブルーバードシルフィ
- 7) 専用埠頭：海外船舶用、国内船舶用

ゲストホール会議室でビデオによる説明の後、組み立て工場内を見学、その後、バスで専用埠頭及び広大な工場敷地内(テストコースは除く)を見学させて頂く。

2. 講演会

- 1) 「カーボンフットプリントの動向について」 村上 和雄講師
 - 1) カーボンフットプリントとは 2006年12月英国カーボントラスト社
 - 2) 日本2008年6月 福田ビジョン「CO₂の見える化」
 - 3) 経済産業省の試行プロジェクト 制度化・普及推進/算定等のルール化
 - 4) わが国の取り組み事例
 - 5) 海外の動向 英国、フランス、ドイツ、韓国
 - 6) 国内外の標準化に向けたスケジュール/試行事業の今後の進め方

- 2) 「日産自動車の工場における環境負荷低減への取り組み」 岸 雄治講師
 - 1) グローバル環境マネジメントの枠組み 3つの重要課題
 - 2) 3つの重要課題と究極のゴール
 - (1) CO₂排出量の削減 CO₂排出量を最小化すること
 - (2) エミッションのクリーン化 排出ガスを大気並みにクリーンにすること
 - (3) 資源循環 再資源化率100%を実現すること
 - 3) CO₂低減及び資源有効活用について
 - (1) 電気自動車「リーフ(LEAF)」
 - (2) 生産工場 CO₂排出量削減
 - (3) 省エネ活動
 - (4) ものづくり改革
 - (5) 自然エネルギーの導入
 - (6) 資源の有効活用
 - (7) 「マーチコレット」でカーボンオフセット活動/新型車リサイクル設計
 - (8) オフィスの環境活動
 - 4) 今後の課題
 - (1) ポスト京都に向けた目標設定
 - (2) エネルギー及び資源の将来動向
 - (3) 環境と経済性の両立

3. 交流会

講師を含めて参加者16名。
追浜駅裏の料理屋「一八」で実施。
講師との意見交換は話が弾みました。
次回を楽しみにして、解散。

以上

(文責：内藤 堅一)

